

古壁のリフォーム・
塗り替え用下塗り材

F☆☆☆☆
ホルムアルデヒド放散等級

アク・シミ止め効果
追っかけ塗り対応

ニューSKプラスター



シーラー処理不要の強力なアク・シミ止め効果を持つ
リフォーム用下塗り材。乾燥が早く、追っかけ塗りで上塗り可能。



一材型／追っかけタイプ
ニュー SK プラスター [型式コード SKPT]

主成分	砂
標準塗り厚	1.0~1.5mm
標準塗布面積	3.3 m ² / 袋
梱包単位	10袋 / ケース
正味質量	2,700g / 袋

使用方法

標準加水量 (1.8ℓ / 袋) の8割の水を容器 (錆のでないもの) に入れてから、本品を入れリシンマゼールで軽く練り上げたあと 30分程度練り置きし、下地に合わせて残り水を加えてよく練り上げます。塗り継ぎは避けてください。

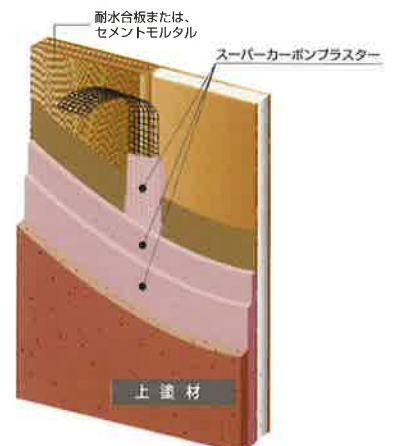
内容用下塗り材
スーパー カーボンプラスター (一材型)
一部に耐水合板やモルタルなどが混在する場合に。

F☆☆☆☆
ホルムアルデヒド放散等級



スーパー カーボンプラスター [型式コード SCP]

主成分	土・炭素繊維
標準塗り厚	1.2~1.5mm
標準塗布面積	3.3m ² / 袋 (混在下地 (2度塗り): 2.7m ² / 袋 (目地詰め 70m / 袋))
梱包単位	6袋 / ケース
正味質量	3,500g / 袋



四国化成工業株式会社

東北・北海道 TEL.022(374)4110 北関東 TEL.0493(62)4127 東京 TEL.03(3451)4111 神奈川 TEL.045(253)4111
中部 TEL.052(705)0111 近畿・北陸 TEL.06(6339)4111 中国 TEL.086(245)3811 四国 TEL.0877(49)5311
九州 TEL.092(431)4111

建材事業サイト
<http://kenzai.shikoku.co.jp>

0903-XKKORO

「ニューSKプラスター」 施工要領書

四国化成工業株式会社

適応下地

- ビニルクロス…下地との接着性が良好なもの
- 古壁…繊維壁、砂壁、聚楽壁などで強いもの
- ボード用石膏プラスター
- 中塗土
- セメントモルタル…木鏝をかけたあと金鏝で表面を平らにしたもの

標準仕様

商品名	ニューSKプラスター(内装用下塗材)	
主成分	砂	
型式コード	SKPT	
正味質量	2,700g	
使用方法	調合	壁材(粉末合成樹脂混合)
	標準加水量	1.8% [※] /袋
	標準所要量	2,700g/3.3m ²
	可使時間	5時間
	標準塗り厚	1.0~1.5mm
包装	10袋/ケース	
有効期間	3年間	

下地補修・施工手順

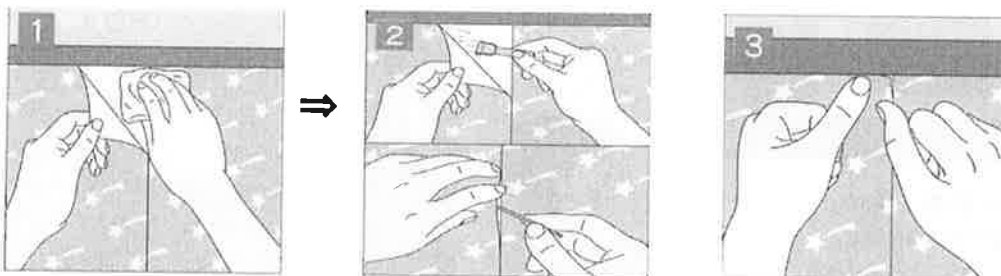
■下地がビニルクロスの場合

① ビニルクロスの掃除・補修



ビニルクロスの表面を濡れタオルで拭いて、下地の確認と掃除を行います。

② ビニルクロスの補修



その際、ビニルクロスのチリや継ぎ目に剥がれがある場合にはビニルクロス剥がれ補修用ボンド(注1)で接着させます。また、部分的に浮きがある場合にはカッターで切り開いて同様に接着させます。乾燥するまでは浮き上がらないようにヘラなどで押さえながらドライヤーで強制乾燥させます。またはピン等で仮止めしておきます。

(注1)コニシ株式会社製「ボンド壁クロス用」

セメダイン株式会社製「かべっ子」

など、エチレン酢酸ビニル樹脂系エマルション系接着剤

③ 「ニューSK プラスター」の塗布

- 補修に使用したボンドの乾燥後に「ニューSK プラスター」を塗り付けます。
- 「ニューSK プラスター」の練り方、塗り方は「使用方法」をご覧ください。
- 「ニューSK プラスター」の乾燥後、「けいそう壁シリーズ」を始め、シコクのすべての内装材が塗布できます。

■古い聚楽など、塗り壁リフォームの場合

- 古壁など左官下地の場合は「ニューSK プラスター」が直接塗布できます。
- 「ニューSK プラスター」の練り方、塗り方は使用方法をご覧ください。
- 「ニューSK プラスター」の乾燥後、「けいそう壁シリーズ」を始め、シコクのすべての内装材が塗布できます。

使用方法

1. 標準加水量

- 1袋(3.3㎡)当り1.8ℓです。

2. 練り方(1袋の場合)

- 容器(錆のでないもの)に標準加水量の8割(約1.2-1.4ℓ)の水を入れます。
- 次に本品を入れ、リシンマザールを使用して軽く練り上げたあと30分程度練り置きし、下地にあわせて残り水を加え、よく練り上げます。
- 水の入れ過ぎは、塗面がダレますので注意して下さい。
- 同一面での塗り継ぎは色むらの原因となりますので、必要な塗材は一度に混練りします。

3. 塗り方

- 各種工具を使用して1.0-1.5mmを目安に均一に塗り付けます。
- 水の引き始めを見計らって下地が見えないようによく押さえて仕上げます。
- 不陸、段違いのあるときは2度塗りしてください。
- 薄塗りは下地のすけや、模様むらの原因となります。

施工上の注意

- 本製品は内装専用です。外装には使用できません。
- 弱い下地、施工後剥離の可能性のある下地は、施工前に補強してください。
- 古壁に限らず、下地は掃除機等でチリ・ホコリなどを清掃してください。
- 下地は十分乾燥させてください。
- 釘などで錆の恐れのある箇所には、錆止めを施してください。
- 水引き差の大きな下地は、下地調整を施してください。
- 石膏プラスター下地で表面がドライアウトしているときは、強固な下地にやり直してください。
- 万一、アク・シミが発生した場合はもう一度塗り重ねてください。
- 施工後、気温 0℃以下になる恐れがある場合は、施工を避けてください。
- 混練りした材料の長時間放置は避け、使用器具は早めに水洗いしてください。
- 施工後は通風を良くし、乾燥を早めてください。
- 直射日光の当たる場所、湿気の高い場所、高温(40℃以上)、低温(0℃以下)での保管は避けてください。
- 本品は天然の土・砂が主原料ですので、ロットによる多少の色違いはご容赦ください。

■ 安全に関するご注意

製品の特性を十分にご理解いただき、正しくかつ安全にご使用いただくために、次の事項につきましてご注意願います。

[取扱上の注意]

1. 作業中は目、皮膚への接触を防止するため、状況に応じて保護眼鏡、保護マスク、保護手袋を着用してください。
2. 作業後は、手洗い・うがいをしてください。汚れた作業服は洗濯してください。
3. 皮膚に付着した場合には多量の石鹼水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診断を受けてください。
4. 目に入った場合には、多量の水で洗い、医師の診断を受けてください。
5. 誤って飲み込んだ場合には、ただちに医師の診断を受けてください。
6. 容器からこぼれた場合には、砂などを散布し、回収したのち水洗いしてください。
7. 容器は密封し、湿気や直射日光を避け、喚起のよい冷暗所に保管してください。
8. 空容器の処理は、産業廃棄物業者に依頼してください。残さ・残液は下水・河川・池・井戸・地下水などを汚染する恐れのある場所には廃棄しないでください。

[おことわり]

1. 壁面に強く触れると肌を傷つけることがありますので、ご注意ください。
2. 天然の土・砂を使用していますので、ロットにより多少の色違いを生じることがあります。
3. 天然の色土や顔料を使用していますので、わずかに褪色することがあります。

4. 壁面が水に濡れると、変色や剥離の恐れがあります。
5. 壁面は結露を繰り返すことにより、カビが発生したり、剥離することがあります。定期的な換気を行なってください。
6. 柱の乾燥収縮、地震や空調設備などによって下地に振動が生じると、壁面にチリ切れやクラックを起こすことがあります。

以上